

第2学年 算数科学習指導案

日 時 平成25年10月9日(水) 5校時
場 所 2年生教室
児 童 男8名 女1名 計9名
授業者 佐々木 由美子

1 単元名

○ 9 たし算とひき算のひっ算(東書「新しい算数2上」)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、学習意欲が高く、どんな問題も解決しようと努力することができる。また、ペア学習の活動では、互いの意見を聞いたり、つまづいている友達に教えてあげたり、共に学んだりしようとする姿勢が身に付いている。しかし、自分の考えに自信がもてない児童や、考えを整理して話すことが難しい児童もいる。

昨年度の標準学力調査の結果によると、学習意欲、基礎問題は概ね目標値を超えているものの、活用問題の正答率は二極化している。

(2) 単元・教材について

本単元で扱う、「たし算とひき算のひっ算」は、学習指導要領において以下のように位置付けられている。

第2学年 A 数と計算

(2) 加法および減法についての理解を深め、それらを用いる能力を伸ばす。

ア 2位数の加法及びその逆の減法計算を基にしてできる計算の仕方を考え、それらの計算が1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、それらの計算が確実にできること。また、それらの筆算の仕方について理解すること。

イ 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えること。

ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の仕方を確かめたりすることに生かすこと。

児童は、第2学年になって、「たし算のひっ算」では2位数の加法(百の位への繰り上がりなし)の筆算を、「ひき算のひっ算」では2位数の減法の筆算(繰り下がり1回)を学習した。「3けたの数」では、数カードを使って数の概念について理解を深め、簡単な場合の3位数の計算も数の構成に基づいてできるようになってきている。

本単元では、既習の筆算を基に、位ごとに計算することを再確認し、繰り上がりや繰り下がりも同じ考えで処理できることを理解させていく。

(3) 指導にあたって

本単元の指導においては、数カードの操作を十分に行い、操作と筆算を関連付けて計算の仕方を説明できるようにし、筆算の基本的な理解を深めるとともに計算技能を確実なものにする。また、計算結果を見積もったり、計算の確かめをしたりして、計算結果の正誤を判断できるようにする。

3 単元の目標と単元構想

○既習の筆算を基に、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し、確実にできるようにするとともにそれらを用いる能力を伸ばす。

○筆算形式による3位数+1、2位数(百の位へ繰り上がりなし)、3位数-1、2位数(百の位から繰り下がりなし)の計算の仕方について理解する。

(2)ひき算のひっ算 全12時間(本時6/12)			
時	目標	「教える」留意点	「考えさせる」留意点
4	知 3位数-2位数=3位数(百の位から繰り下がりあり)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	・百の位から十の位へくり下がりがあること	・百の位からくり下がりのある筆算の仕方
5	技 3位数-2位数=3位数(十、百の位から繰り下がりあり)や2位数+1、2位数=3位数(百の位へ波及的繰り下がりあり)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	・十の位からも百の位からもくり下がりがあること	・十の位、百の位からくり下がりのある筆算の仕方
6 (本時)	考 3位数-1、2位数(十、百の位からの波及的繰り下がりあり)の筆算の仕方を考え、説明できる。	・百の位から十の位、十の位から一の位へ順にくり下げること ・補助数字の書き表し方	・波及的くり下がりのある筆算の仕方
7	技 3位数-1、2位数(十、百の位からの波及的繰り下がりあり)の筆算ができる。		・減法と加法の関係を基に、加法による確かめの仕方

4 本時の指導

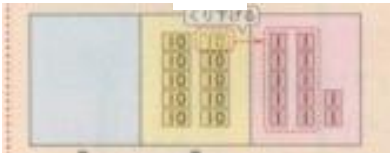
(1) 目標

3位数-1, 2位数(十, 百の位からの波及的繰り下がりあり)の筆算の仕方を考え, 説明できる。

(2) 学習活動における評価規準

【数学的な考え方】既習を基に, 3位数-1, 2位数(十, 百の位からの波及的繰り下がりあり)の筆算の仕方を考え, 説明している。(ノート・発言)

(3) 展開 (6/12 p.87)

段階	学習過程・学習活動	指導上の留意点 ●評価
導入 5分	<p>1 もんだい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $102 - 65$ のひっさんのしかたを考えましょう。 </div> <p>(1) 既習の筆算との違いを確認する。 (2) 課題を設定する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 十のくらいからくり下げられないときは, どのよう にけいさんするのだろう。 </div>	<p>・既習との違いに気付かせ, 課題意識を高める。</p>
展開 35分	<p>2 まなぶ</p> <p>(1) 答えの見当をつける。 (2) 数カードを使って計算の仕方を考える。 (3) 数カードと関連付けて筆算の仕方を確認する。</p> <div style="text-align: center;">  $\begin{array}{r} 9 \\ 10 \\ \hline 9 \\ 10 \\ \hline 102 \end{array}$ </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> $\begin{array}{r} - 65 \\ \hline 37 \end{array} \quad \begin{array}{r} - 65 \\ \hline 37 \end{array}$ </div> <p>3 たしかめる</p> <p>(1) ペアで筆算の仕方を説明する。 (2) 筆算の仕方をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>百のくらいから十のくらいへ, 十のくらいから一の くらいへ, じゅんにくり下げる。</p> </div> <p>4 つかう</p> <p>(1) 適用問題 3 を解く。</p>	<p>・簡単な数値に置き換え, 根拠のある見積もりをさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈教える留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十の位から繰り下げられないときは, 百の位から十の位, 十の位から一の位へ順に繰り下げること。 ・補助数字の書き表し方。 </div> <p>・ペアで説明し合い, 理解確認をする。 ●既習を基に, 3位数-1, 2位数(十, 百の位からの波及的繰り下がりあり)の筆算の仕方を考え, 説明している。(発言・観察)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈考えさせる留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波及的くり下がりのある筆算の仕方 </div> <p>・進度の速い児童は, 追加プリントに進む。</p>
終末 5分	<p>5 ふりかえる</p> <p>(1) 本時の学習についてふり返り, 学習感想を書く。 (2) 発表し, 学習の成果を交流する。 (3) 次の学習の見通しをもつ。</p>	<p>・本時の学習をふり返ることで, 次時への意欲につなげる。</p>